



2021年
3月号

風の子便り

社会福祉法人のゆり会 たかさご保育園

<http://www.takasago-hoikuen.com>

いよいよ、今年度も残りあとわずか。この1年で大きく成長した子どもたちの姿がうれしく、頼もしさを感じているこの頃です。少しずつ春めいて参りました。三月は別れ、そして希望の月ですね。通い慣れた保育園やお友達とお別れするぞう組みさんですが、小学校の話になると、瞳がキラキラ輝き、ぞう組さんにあこがれている小さいクラスのお友達はもちろんの事、大人たちをも幸せに満たしてくれます。

何事も始めて向かう事はドキドキがつきものです。私達大人にとっては、何気ない出来事も、経験の少ない子ども達にとっては、一つ一つがドキドキです。子ども達のそんなドキドキを共感しながらも、後ろで支えてくださった、ご家族の方々から。そしてお友達と一緒に頑張ったから、乗り越えることができた。そんな場面がこの一年たくさんあったと思います。そしてこれから待っている新しい生活にも期待を持って向かっていってくれると信じています。

2020年は、コロナ禍の中、安全で、安心した生活がどんなに大切かを知らされた年度でもありました。保護者の皆様には、たくさんのご理解、ご協力を頂いたことを、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。暖かく見守って下さる皆様に 日々助けて頂きながら、私達も一緒に成長を見守ることができ、本当に幸せに思います。職員一同、これからも皆様の笑顔が溢れる日々を祈ると同時に、子ども達の命を守っていきたく思います。

「ひなた」 倉橋惣三「育ての心」より

ひなた。ーそこは庭でも廊下でも、なんと、なごやかに人をひきつけることか。
ひなた。ーそれは子どもでも大人でも、なんと、うっとり人を睦ませることか。
ひなたには陰がない。冷たさがない。
明るく、暖かく、人の心を解き又溶く。
自分への不用意、人への親しみ。
眠りもせず、醒め過ぎもせず。
離れもせず。
抱きしめもせず、ただ、おっとり、我れもなく他もない。
胸をあけて、肩を寄せて、足を投げ出して、手を組んで、のんびりと打ち集うひなたー。
「教育のひなた。ひなたの教育」



3月の予定		
1	月	ちゅっちゅこっこの会
2	火	
3	水	卒園式リハーサル
4	木	
5	金	
6	土	卒園式 
7	日	
8	月	ちゅっちゅこっこの会
9	火	卒園遠足 0才児健診
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	ちゅっちゅこっこの会 171災害ダイヤル
16	火	ポニー活動
17	水	
18	木	
19	金	
20	祝	春分の日
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

★ 今月は、地域活動は中止させて頂いております
(予定は変更になる場合があります)

ひよこ2組(0才児)です こんにちは！

ひよこ2組の子どもたちは、保育者にしたいこと・して欲しいことなど、自分の思いを指差しやマカトサイン法で伝えながらやり取りを楽しむようになってきました。

「どうぞ」「ないない(片付け)」などの言葉も少しずつ聞かれるようになり、保育者が言葉を復唱したり気持ちを汲み取りながら関わっていくことで、頷いたり首を振ったりと自分の気持ちが通じることで、より一層自ら関わりを持つ姿があります。

お友達への関心も出てきて、子ども同士で頭を撫で合ったり、おままごとなどの遊びを通して「あ〜ん」と食べさせ合ったり…保育者だけでなくお友だちとも遊びの中でやり取りをしながら、関わるようになりました。

子どもたちのやり取りを見守りつつ、個々の気持ちを代弁していくことで、人と関わる楽しさを感じられるようになっています。



ばんび組(1才児)こどものつづやき

おままごとコーナーでのひとコマです。かばんと携帯を持ちインターフォンを押しながら「ぴんぽ〜ん」と言うAちゃんに、お家の中にいるBちゃんが「はい ど〜ぞ」と応えます。

お家の中では、Bちゃんはシンクで手を洗い終わると、「おててをふきましょ〜」と歌いながら手を拭いていました。そして、先に座っているお友達に「て、あらってきた？これおやつで〜す」とお皿を差します。待っていたみんなは「いただきます！」と食べはじめていました。毎日の生活を再現し、楽しんでいる子ども達です。



よさこいソーラン琉球王
ぞう組(5才児)



うれしいひなまつり
ぞう組(5才児)



ひつじくみ音楽隊
ひつじ組(4才児)



どうぶつたちのあつたかてぶくろ
りす組(3才児)



とどけぞう組さくら太鼓
ぞう組(5才児)



しあわせなら てをたたこう
うさぎ組(2才児)

つくしんぼの発表 みてもらえたよ！

今年の「つくしんぼの会」は、緊急事態宣言になり、開催は断念し、映像でのお伝えとなりました。

子ども達は「お家の人に見てもらえる」という喜びを持って練習にも熱が入り、収録日の子ども達一人ひとりの表情からも、お家の人に見てもらい、発表する事の緊張感が感じられました。放映後には「がんばったねっていった」「じょうずだったよっていった」と子ども達から喜びの言葉が聞かれました。又ひとつ成長した子ども達です。

卒園式が開催されます

日時:3月6日(土) 10:00開式
子ども:8:30~8:40
保護者:9:55~



参列者:ぞう組(5才)卒園児と保護者
卒園式は、内容等を縮小して執り行う予定ですが、変更になる場合もあります。

たかさごの教育(人との関わり)2才児 第11回

うさぎ組の子ども達は、言葉のやりとりを通して友達と関わりながら遊ぶことを楽しむようになってきました。お店屋さんごっこでは、「いらっしゃいませ〜なににしますか」と4色のチェーンリングをお皿に入れ「らーめんどうぞ」「スパゲッティおもり、300円で〜す」と店員になりやり取りを楽しみます。また、節分の時には、「あ！おにがいるよ！やっつけるぞ〜」と数名で鬼に見立てた壁に向かって豆を投げ鬼退治で盛り上がっていました。

しかし時には、まだ一人で遊びを楽しみたい、まだオモチャを貸したくないと、「いれて〜(かして〜)」とお友達に言われても「い〜いよ」とお返事が出来なかったり、お返事がもらえない場面では、言葉より先に手がでてしまうこともあります。そんな時には、保育者が双方の気持ちや思いをくみ取り、その場に応じたやり取り「もうすこしたらかしてね。」「あとでいっしょにあそぼうね。」などとお互いの思いを言葉で表現する事の大切さを伝えています。

最近では、使っている玩具を友達に貸してほしいと言われた時に、双方の思いを伝えると、しばらく考え「どうぞ」と少し分けてくれたり、泣いている友達に「かなしかったの？」と悲しい気持ちを代弁して傍に寄り添う姿が見られます。私たち保育者は、子ども達の橋渡しの存在として子ども達の気持ちを受け止め、友達と通じ合える喜びを感じられるように、子ども達の世界が広がっていくように、見守っています。